

グループ名 ・代表者名	e シフト： 脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会	助成金額	80 万円
連絡先など	<a href="mailto:info@e-shift.org">info@e-shift.org</a> 、03-6907-7217 e シフト事務局 (FoE Japan 内)		
助成のテーマ	エネルギー基本計画の課題分析、市民版エネルギー基本計画の策定 および社会ムーブメントづくり		

**【調査研究の概要】** (調査研究のねらい・手法・期待される成果など)

- 1) エネルギー政策の現状・課題・今後の動向について分析を行う。
- 2) 国会議員や政策担当者、専門家との対話 (公開・非公開)、勉強会、提言を行う。
- 3) 原子力発電推進を柱としたエネルギー政策から、省エネルギーと自然エネルギー利用推進によって脱原発を実現する方向性を明確に示す市民提案の取りまとめを行う。
- 4) 効果的にわかりやすい情報発信に努め、公開シンポジウム・セミナー・市民フォーラムの開催やウェブサイトでの情報発信、メディアリリースなどを通じて社会ムーブメントづくりを行う。

**【調査研究の経過】** (取り組みの具体的な経過：主要な出来事のみ)

- 2011 年 4 月：e シフトスタート。議員会館勉強会開催等。(～6 月)
- 6 月：6・4 シンポジウム開催、6・11 脱原発全国アクション、e シフト「市民委員会」スタート。  
エネルギー政策検討プロセスに関してロビー活動。(～7 月)
- 7 月：再生可能エネルギー促進法成立に向けたロビー活動。(～8 月)  
「市民版エネルギー基本計画」検討開始。
- 8 月：「エネルギーシナリオ市民評価」開始。
- 9 月：9・18 脱原発シンポジウム開催。9.11-19 脱原発アクションウィーク開催。

**【現在までの成果と今後の展望など】**

- ・ シンポジウム、イベント、アクションに、一般市民の参加を多数獲得。
- ・ 政治に対して要請・提言やアクション等、タイムリーな働きかけを行っている。
- ・ 現在、エネルギー政策見直しへの市民提案「市民版エネルギー基本計画」を年内を目処に取りまとめ、新しいエネルギー政策の実現に向けて今後これを政治や市民に広くアピールしていく。

資金計画の概要 (金額単位：円)			充当する資金の内訳		
支出費目	内 訳	支出金額	高木基金の 助成金を充当	他の助成金 等を充当	自己資金
旅費	議員勉強会講師交通費 (15 万円) 都内交通費 (6 万円)	210,000	160,000		50,000
資料費	参考資料等	50,000			50,000
機材・備品費					
会議費	シンポジウム会場費 (10 万円) フォーラム会場費 (10 万円)	200,000		100,000	100,000
印刷費	資料・ちらし印刷費 (55 万円) 市民提案印刷費 (10 万円)	650,000	210,000	100,000	340,000
協力者謝礼など	勉強会・シンポジウム講師謝金 (54 万円) デザイン等謝金 (6 万円)	600,000	150,000	300,000	150,000
外部委託費	海外事例調査委託費	200,000	100,000		100,000
その他	アルバイト人件費 (35 万円) 事務管理費 (10 万円)	450,000	180,000		270,000
合 計		2,360,000	800,000	500,000	1,060,000

**参考文献 (ウェブサイトや書籍、成果物など)**

- ・ e シフトウェブサイト <http://e-shift.org>

# eシフト

原発事故被害への対応と脱原発への方向転換を目指す  
政策提言と社会ムーブメントづくり

<http://e-shift.org/>

2012年9月23日

国際環境NGO FoE Japan 吉田明子

## eシフト: 脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会

eシフトとは、

2011年3月11日の福島第一原発事故を契機に、脱原発と自然エネルギーを中心とした持続可能なエネルギー政策を実現させることを決意した、団体・個人の集まりです。

- 1「事故被害の最小化」と「責任所在の明確化」
- 2「脱原発と持続可能なエネルギー政策に向けた政策提言づくり」と「その実現」
- 3「市民への有益な情報発信」と「社会的ムーブメントの巻き起こし」

の3つの分野で活動を展開しています。

さまざまな団体の立場の違いを乗り越え、お互いの長所を活かしながら、本当に豊かで安心できる持続可能な社会を作るための大きなうねりとなっていくことを目指しています。  
そのため、固定的な組織体ではなく、緩やかなネットワークによる活動母体として機能していきたいと思っています。

<http://e-shift.org>



## 参加団体 (2012年8月現在、約60団体+個人、全体約250名)

- |   |  |           |
|---|--|-----------|
| <p>FoE Japan<br/>エコロジャパンインターナショナル<br/>環境エネルギー政策研究所(ISEP)<br/>環境市民<br/>環境文明21<br/>気候ネットワーク<br/>グリーンアクション<br/>グリーンピース・ジャパン<br/>原子力資料情報室(CNIC)<br/>原水爆禁止日本国民会議(原水禁)<br/>大地を守る会<br/>地球環境と大気汚染を考える全国市民会議(CASA)<br/>WWFジャパン(公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン)<br/>A SEED JAPAN<br/>THE ATOMIC CAFE<br/>特定非営利活動法人APLA<br/>R水素ネットワーク<br/>インドネシア民主化支援ネットワーク<br/>エコロ・ジャパン・インターナショナル<br/>GAIAみみずすま書庫<br/>環境まちづくりNPOエコムッセ<br/>原発廃炉で未来をひらこう会<br/>自然エネルギー推進市民フォーラム</p> | <p>市民科学研究室<br/>持続可能な地域交通を考える会 (SLTc)<br/>水源開発問題全国連絡会(水源連)<br/>高木仁三郎市民科学基金<br/>地球の子ども新聞<br/>東京平和映画祭<br/>東京・生活者ネットワーク<br/>ナマケモノ倶楽部<br/>日本環境法律家連盟(JELF)<br/>日本消費者連盟<br/>日本ソーラーエネルギー教育協会<br/>ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン<br/>No Nukes More Hearts<br/>東アジア環境情報発信所<br/>フクロウの会(福島老朽原発を考える会)<br/>フリーター全般労働組合<br/>ピースポート<br/>ピープルズプラン研究所<br/>ふえみん婦人民主クラブ<br/>福島原発事故緊急会議<br/>みどりの未来<br/>メコン・ウォッチ<br/>ワーカーズコープ・エコテック</p> | <p>ほか</p> |
|---|--|-----------|

## ◆ビジョン 脱原発、エネルギーシフト (省エネルギー、自然エネルギー中心のエネルギー政策へ)

### ◆目指すこと

1. 被害最小化
  - ・放射能被害の最小化
  - ・影響住民への支援
  - ・放射能被害の可視化
2. エネルギー政策転換
  - ・民主的なエネルギー政策見直しプロセス
  - ・省エネルギー・再生可能エネルギー中心へ
3. ムーブメントづくり
  - ・地元からの声結集
  - ・世論形成

### ◆アクション

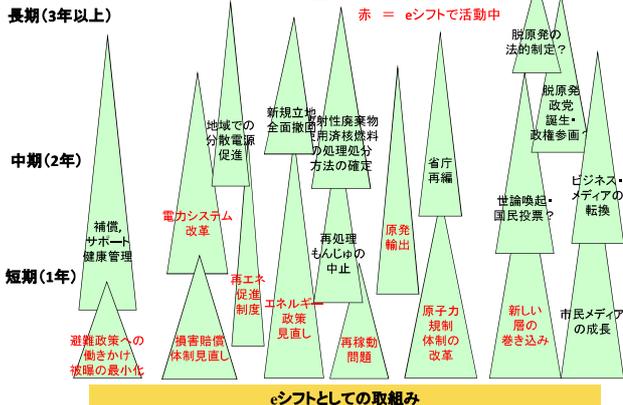
- |  |   |   |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地の現状把握</li> <li>・現地のニーズ把握</li> <li>・放射能汚染状況調査</li> <li>・関係者意見交換</li> <li>・署名活動</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民版シナリオ提案</li> <li>・勉強会</li> <li>・署名活動</li> <li>・要請書提出</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動方法の可視化</li> <li>・ウェブサイト</li> <li>・市民メディアによる情報発信</li> <li>・デモ、アクション</li> </ul> |
|--|---|---|

国際社会  
ネットワーク、情報発信

## eシフト: 脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会



## 脱原発の実現(全原発の停止。それでも廃棄物は残る)



## 活動手法(1)

**eシフト全体会合**

- ・月1回程度都内で開催、各回20~30名程度参加
- ・緊急テーマ、重要テーマに対する意見交換、具体的なアクション立案
- ・情報交換、ネットワークづくり

**eシフトメーリングリスト**

- ・250人以上参加
- ・1日5~20通程度
- ・重要テーマに関する情報交換、意見交換

**ウェブサイト、「eシフトお知らせメール」**

- ・重要テーマに関する情報発信



## 活動手法(2)

### eシフト市民委員会

- ・エネルギー・原子力政策への提言
- ・市民版代替案の提案
- 「市民版エネルギー基本計画」

### メディア・アクション

- ・ウェブサイトでの情報発信
- ・自治体の脱原発・自然エネルギー取り組みの促進
- ・ほか

### 規制庁チーム

- ・規制組織のあり方、人事問題などに対応。共同声明など。

### 東電問題チーム

- ・損害賠償のあり方や東電のあり方について情報発信等

### ブックレット編集チーム

- ・Vol.1 再稼働問題
- ・Vol.2 発送電分離

### 選挙対策チーム

- ・衆議院選挙に向けたプラットフォームづくり、情報発信

## これまでの活動

- 11年4月 ・eシフト発足
- 5月 ・子ども20ミリシーベルト基準撤回署名
- 6月 ・脱原発シンポジウム開催
- ・エネルギー政策見直しプロセスに関する声明発表
- ・再生可能エネルギー促進法を求める議員アプローチ
- 7月 ・原子力損害賠償支援機構法案に対する抗議声明
- 8月 ・泊原発三号機運転再開抗議アクション
- 9月 ・脱原発シンポジウム開催
- ・脱原発・アクションウィーク実施
- 10月 ・福島市渡利地区の避難問題について署名活動等
- 11月 ・原発運転再開問題・論点整理集会開催
- ・対話型イベント「エネルギーシフトカフェ」開催
- ・原発輸出問題論点整理集会開催、共同声明等発表
- ・再エネ調達価格算定委員会人事への抗議声明

## これまでの活動

- 2011年12月 ・原子力損害賠償支援機構問題について声明発表
- ・「脱原発・エネルギーシフトに関する市民版基本方針」発表
- 2012年1月 ・ストレステスト・運転再開問題に関して院内集会開催
- 2月 ・原子力損害賠償問題について勉強会等開催
- 3月 ・311アクションの協働アピール実施
- ・eシフトブックレット「原発を再稼働させてはいけない4つの理由」刊行
- 4月 ・再稼働問題や原子力既存組織問題に関して声明発表等
- 5月 ・エネルギー政策の見直しに向け、声明発表等
- 7月 ・パブリックコメント参加呼びかけ
- ・自主的意見聴取会開催
- 8月 ・規制委員会人事問題「市民500人ロビー」実施

## 成果と課題

これまでにない多様なゆるやかなネットワークが形成され、情報交換や連携アクションで成果を上げている。

一方で、ネットワークならではの課題も。

### <成果>

- ・多様な種類のグループのネットワークが構築されたこと
- ・ゆるやかなネットワークによる、情報共有、意見交換
- ・連携による具体的なアクション、と成果

### <課題>

- ・活動資金(特に運営人件費等)の確保
- ・多様性の維持と機動性・一貫性の確保
- ・意思決定の方法

## エネルギー政策見直し

### 3つの見直し



